ＧＰＡ等の設定と、適正な成績管理の実施について

大阪常磐会大学短期大学部では以下のとおり、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定して公表し、成績評価・成績の分布状況の把握を適切に実施します。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

〇GPA の設定

本学においては、学生の成績評価の客観的な指標として GPA を設定し、学内規程を整備している。GPA の公表によって、学生個人が自分の成績が学年でどのあたりの分布に属するかを確認し、今後の学習活動に活かしている。GPA が学年全体の下位 4 分の 1 に位置する場合、各種奨学金や高等教育の負担軽減制度の対象から外れる可能性がある旨を周知し、改善への努力を指導している。

成績評価と各評価に対応する GP を、次のとおり定めている。

素点	評語	GP
100 点～90 点	秀	4.00
89 点～80 点	優	3.00
79 点～70 点	良	2.00
69 点～60 点	可	1.00
59 点～	不可	0.00

※ ただしこの算出においては、実習関連科目など、評価が「合」となるものは除いている。

本学で算出し、学生に公表する GPA は、当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としての「学期 GPA」、当該年度における同指標としての「年度 GPA」、並びに在学中の全期間における指標としての「累積 GPA」に区分される。

各 GPA の算出する計算方法は、以下のとおりとし、計算値は小数点第 2 位以下を切り捨てるものとする。

- 学期 GPA＝(当該学期に評価を受けた各授業科目の GP×当該科目の単位数)の総和／当該学期に評価を受けた授業科目の総単位数
- 年度 GPA＝(当該年度に評価を受けた各授業科目の GP×当該科目の単位数)の総和／当該年度に評価を受けた授業科目の総単位数
- 累積 GPA＝(在学全期間評価を受けた科目の GP×当該科目の単位数)の総和／在学全期間に評価を受けた授業科目の総単位数

【客観的な指標の適切な実施状況】

〇本学における GPA の活用について

本学において GPA は、一人ひとりの学生が GPA の結果の理解を通じて自己の学習成果の振り返りを行うために活用している。また、成績不振者に対する個別の履修指導に利用するとともに、修了時における学長表彰の対象者の選定の基準としても活用する。

〇GPA の対象となる授業科目

下記に示した対象外科目以外のすべての授業科目を対象とする。

なお、不可(GP＝0.00)の判定を得た場合、当該 GP 及びその学修に費やした単位数は、GPA 算定対象に含まれる。ここには履修登録は行ったものの実際には受講しなかった科目も含まれる。尚、下記の科目群は、素点や 5 段階の標語による評価を行っていないため、GPA 算出の対象外科目とする

※　教育実習（幼)、教育実習指導（幼)、保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、保育実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、人権概論

また、「履修の取り下げ」について学内規程を整備し、入学時に「履修ガイドにて制度の概要について説明している。履修登録した授業科目を取り下げる場合、定められた期間に所定の手続に則り許可された場合、GPA 算定から除外することとしている。

〇再履修した科目の成績

再履修により単位を修得した授業科目については、再履修によって得た評価と単位を GPA 算定に算入する。ただし、当該科目について過去に得た評価及び単位数は GPA 算定から除外しない。

ただし、過去の各 GPA を遡って変更することはない。

〇GPA の通知

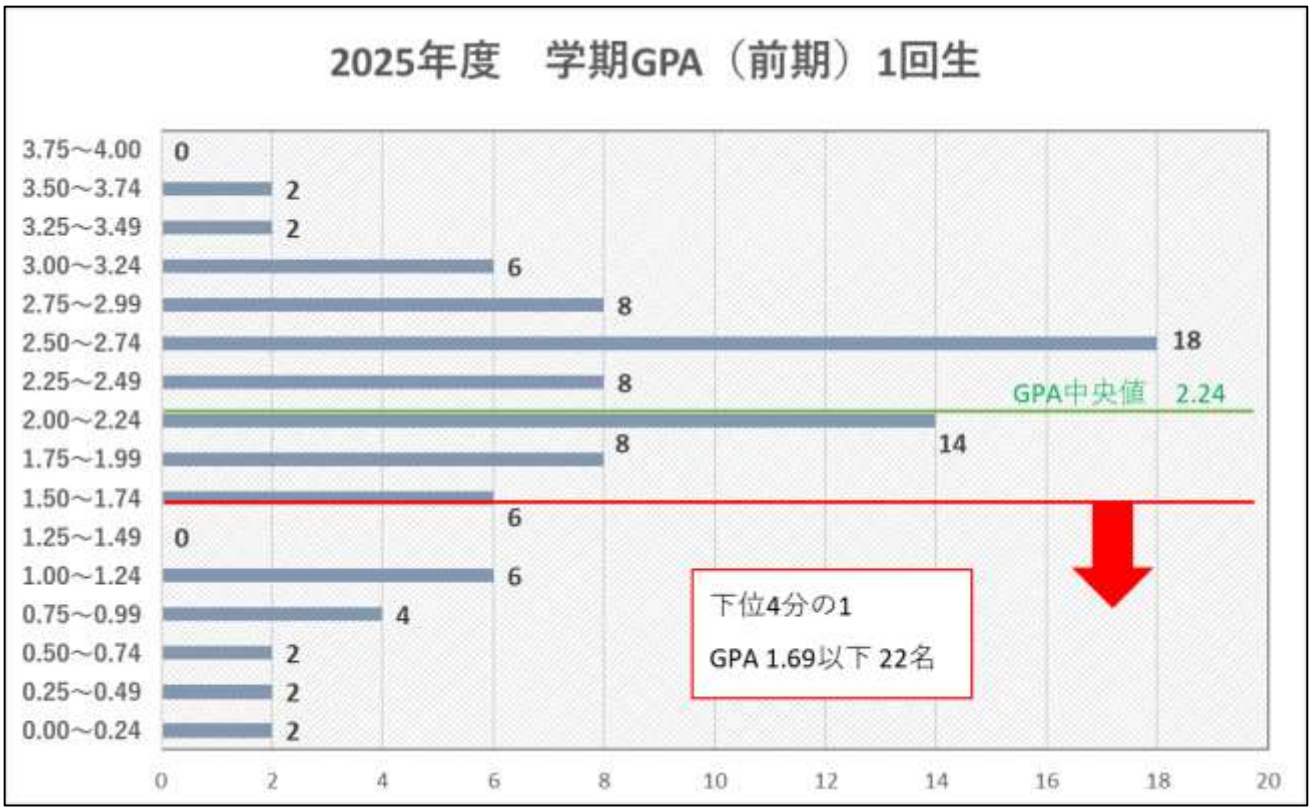
GPA については、各期における成績発表時に学期 GPA および累積 GPA を書面において公表している。また、後期においては、年度 GPA も併せて通知している。尚、GPA については、入学時に「履修ガイド」において制度の概要と各学期での公表について説明し、前期成績発表時に書面において本学における GPA の取り扱い等についての文書を配布し、その意義についての周知を図っている。

〇成績評価にかかわる疑問への対応

成績評価の瑕疵担保や学生への説明責任を果たし、GPA の算出を適切なものとするために、「成績評価にかかわる疑問」への対応について様式や取扱いの流れを定め、入学時に「履修ガイド」において概要を説明している。

大阪常磐会大学短期大学部　乳幼児教育学科

1 回生　学期 GPA 分布図



大阪常磐会大学短期大学部　乳幼児教育学科

（常磐会短期大学　幼児教育科（現：大阪常磐会大学短期大学部）3年コース（長期履修制度）含む）

2回生　学期GPA分布図